

2020 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 一般・外国人

科目名 地域社会学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1

以下の6つの用語のうちから4つを選択し、その意味を説明してください。

出題意図：

課題テキストである、地域社会学会編『新版キーワード地域社会学』（ハーベスト社，2011年）から該当する部分を抜き出し、適切に記述することができるか。

問題 2

地域コミュニティを定義したうえで、現代日本における地域コミュニティの現状や課題について具体例をあげつつ論じてください。

出題意図：

- ① 地域コミュニティを学術的に定義できるか。
- ② 現代日本における地域コミュニティの現状や課題を理解しているか。
- ③ 地域コミュニティに関する具体的な事例を知っているか。

2020 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 外国人

科目名 社会福祉学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

（基礎）

専門用語として使用される基本的な語句の内容(1)(2)、制度的な仕組みについて理解(3)が出来ているかを確認する。

（1）採点ポイント

生活習慣が発生原因に深く関与していると考えられる疾患の総称であること。

代表的疾患として、糖尿病・脂質異常症・高血圧・高尿酸血症などの例が示せること。

肥満と複合する状態をメタボリック症候群と称されることを理解していること。

がん、脳血管疾患、心臓病（日本人の3大死因）も生活習慣との関わりが強く、肥満はリスクをあげることを理解していること。

（2）採点ポイント

医療保険制度に含まれる休業補償制度であること。

事業主から十分な報酬が受けられない場合に支給されること。

業務外の事由による病気やケガの療養であること。

健康保険・船員保険・共済保険が対象であり、自営業を主な加入者とする国民健康保険は対象外であること。等を理解していること。

（3）①若年期、②所得保障、③自助努力、④強制、⑤任意、

⑥賃金、⑦終身、⑧有期、⑨後世代、⑩国庫負担

(専門)

社会保障の仕組み(1)、現代的課題(2)について理解し、論述出来る力があるかを確認する。

(1) 採点ポイント

- ・介護保険制度は社会保険の仕組みを使用しているため保険料を納付することが制度利用の前提となっていることを理解していること。
- ・保険料は所得に応じた区分が設定されているが、市町村税非課税世帯者も保険料負担が前提となっていること、併せて自己負担額もあること。(但、生活保護制度利用者は除く)
- ・自治体による保険料の減額制度が、不慮の事故・災害等に多くは限られていること。年金保険や医療保険の様に、所得を理由とする軽減措置が図られていないこと。
- ・保険料滞納のペナルティが厳しいこと。

以上の理由により、介護保険の利用にあたっては、低所得の被保険者は所得に占める介護費用の経済的負担が高くなること。負担軽減のためにサービスの利用を自己規制する姿勢があること。保険料滞納はペナルティが重く、介護を必要な状況となっても制度が使用しにくい状況になること。所得を理由とした保険料等の軽減措置が他の社会保険に比べて設定されていないため、所得の低い被保険者ほどサービスの利用がしづらくなるリスクが高くなることが考えられること。等を理解し、論述出来ていること。

(2) 採点ポイント

- ・高齢者福祉・介護事業の倒産件数が2012年頃から増加傾向にあること。
- ・近年倒産する事業所の特徴として、①. 小規模(資本金1千万円未満・従業員10人未満)事業者が多いこと、②. 訪問介護事業が増加していること、③. 破産型の破産申請が多いことを認知していること。
- ・倒産理由として、他事業者との競合に資金不足等の理由により脱落していること。介護人材の確保が出来ないことが理由として考えられることを理解していること。
- ・事業者の消滅は結果として福祉サービスの利用者の不利益に結びついていること。

以上の状況を理解し、論述が出来ていること。

2020 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 外国人

科目名 公共社会学

解答例又は出題意図

【基礎】

問題 1

出題意図：

大学院で公共社会学を学ぶにあたって必要となる基礎知識への修得状況を確認するために出題したものである。課題テキストである、坪洋一『福祉国家』（法律文化社、2012 年）と武川正吾『政策志向の社会学』（有斐閣、2012 年）における該当する部分での説明をもとにして、解答することを選択した概念について適切に理解できているかを問うている。

【専門】

問題 2

出題意図：

大学院で公共社会学を学ぶにあたって必要となる、知識を構造化し、それを論理的に説明できる能力を確認するために出題したものである。

福祉国家の危機に対応する一つの可能性である第 3 の道の政治を取り上げ、その理念と意義を適切に理解できているかを確認するとともに、第 3 の道に対する諸批判をそれらと照らし合わせうえで、第 3 の道の可能性に対して自分なりに考察し、自らの見解を論理的かつ説得的に展開できるかどうかを問うている。

2020 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学類 選抜区分 外国人

科目名 福祉・医療社会学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1 (【基礎】)

出題意図：

- ・テキストの内容を理解し、福祉・医療社会学の基礎的な知識を身につけているかを問う。
- ・テキストの該当箇所に記されている基本概念の定義や用語あるいは問題の性質、例、課題や論点等について、適切に引用し、正確に説明できているかを確認する。

問題 2 (【専門】)

出題意図：

- ・テキストの内容を理解したうえで、福祉・医療社会学の専門的な課題に取り組むための知識と応用力、論述力を身につけているかを問う。
- ・テキストの該当箇所をふまえて解答するために必要な概念を説明するとともに、課題の背景要因や経緯・各国の状況の分析、課題の解決方法や展望を相互に関連させて論述する力を評価する。

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 外国人

科目名 地域コミュニティ論

解答例又は出題意図

【基礎】

問題1 以下の4つの用語の中から2つ選択して、その意味を解説してください。

(1) 伝統的地域社会

日本の村落では、共同で水源を確保し、共同で水路の保全・維持を行うなど、水をめぐる共同が共同生活の基礎であり、茅葺き屋根の葺き替えなどの共同にも用いられた。このため、伝統的地域社会は、成員相互の親密な関係性、共同問題への共同処理の仕組みを持ち、日本の地域社会を支えてきた。反面、この共同性は、個人よりも集团的利益を優先させ、個人の自発性・自主性を抑え込むなどの欠点を有しており、明治期以降の社会変動の中、伝統的地域社会は弱体化していった。

(2) モデル・コミュニティ

高度経済成長期には、伝統的地域社会が崩壊し、人々がその拘束性から解放される一方、その代償として、現代都市社会は人間関係の希薄な社会となり、孤独感に襲われる事態となった。このため、自治省は、おおむね小学校区を標準とするモデル・コミュニティを設定し、地区の特性に合わせた生活環境整備と、住民の自主的なコミュニティ活動を促進することを目指した。コミュニティの地域単位は明確になったが、結果的にこの施策はコミュニティ施設の建設に収斂した。

(3) 自然村

鈴木榮太郎は、むら内で人々の共同活動の集团的単位の地域的広がりを調査し、水利組織、屋根葺きや葬祭の労力交換の共同単位などがほぼ重複することを見出した。この共同単位が人々によって強く意識され、「むら」と呼ばれる生活上の、そして精神的なまとまりを形作っていることを発見し、これを自然村と名付けた。行政村が合併で拡大していても、自然村は、字、大字の形で、人々の地域社会生活上の事実上の単位として存続してきた。

(4) 偶発的学習

計画的・組織的・効率的に行おうとする学習と異なり、偶発的学習は意図しない学習とも呼ばれる。学習を意図しない活動を通じて、結果的に、その活動の場が学習の場となり、偶然、学習ということが生起することをいう。このような偶発的学習は、日常生活のあらゆる所、あらゆる機会に行われるものだと言え、地域の住民活動の中にも多くの偶発的学習が内包されている。

【専門】

問題2 以下の設問にそれぞれ回答してください。

(1) 社会関係資本の一般的な定義と、農山漁村などの過疎地域に見られる特徴について解説してください。

社会関係資本とは、人々の協調行動を活発にすることによって社会の効率性を高めることのできる「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴である。社会関係資本には、同質的で結束が強い統合（ボンディング）型と、異質な組織間を結びつける橋渡し（ブリッジング）型があり、過疎地域に見られる地縁に基づいた密接な近隣関係は、ボンディング型の社会関係資本を形成するのに適している。

(2) 社会関係資本は、地域住民のどのような活動を通じて形成されるかについて解説してください。

「自然村」と呼ばれる地域社会で行われている多様な住民活動を通じて、地域共同体で暮らしていくための能力の養成や技術の伝授が行われている。そのような活動は学習を意図したものではないが、活動を通じた住民間の身体レベルでのふれ合い、住民相互の承認、年長者から若年者への継承等の偶発的学習の場面を含んでいる。このような学習を通じて、住民間の関係性が深まり、相互扶助や協働の念が生まれ、社会関係資本が形成されている。

(3) 社会関係資本があることによって、どのような効果が地域にもたらされるのか、具体例を示しながら、解説してください。

社会関係資本があることによって、人々の協調行動を活発にし、社会の効率性が高められる。このことによって、例えば、過疎地域における伝統芸能や祭礼の継承が可能となることがある。このような地域活動には、地域住民間の身体的触れ合い、年配者から若年者への伝授、住民どおしの相互承認の場面を含み、これらの活動を通じて、祭礼の実施・運営に関する技術の継承という直接的な効果のみならず、活動を通じた偶発的学習を通じて、その地域に生きる価値観の伝授、世代間交流の促進、住民間の協調や協働、地域の伝統を守る意義の理解、そして活動を通じた交流の楽しみなどの学習成果が生み出される。このような効果は、祭りの継承に限らず、地域内の他の課題と向き合う際にも、住民の協働や共同が生まれやすくする効果を発揮する。このように、社会関係資本があることによって、新たな社会関係資本が形成され、地域の社会関係資本が積み重なっていく。

2020 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 外国人留学生特別選抜
科目名 人文地理学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

別紙添付

「人文地理学」解答例・出題意図について

<基礎> → 提示したキーワードから4つ選んで回答。

回答のポイント／記載を要する点

●結節地域の意味と、結節地域の存在に注目した地理学的な研究課題の例

結節地域 → 何らかの結びつき・関係性で特徴付けられる広がり・地域のこと。

「ある物流倉庫から各地のコンビニへの商品配送の範囲に注目し、その範囲設定が行われた背景を考察する」「河川の流域の関係性に注目し、流域内の水収支や水利用目的ごとの管理体制の重層性を考察する」などのような例示。

●系統地理学の研究方法の特徴と考察の観点例（何か1つ研究対象を挙げて、それを考察する際の観点を具体的に示すこと）

系統地理学 → 地域を構成する何らかの要素・ジャンルに着目し、各地でみられるその要素・ジャンルの特質、構造や分布などとその背景について考察、比較する研究姿勢・手法。

例： 「農業」に関する系統地理学からの接近

… 例を複数挙げることでできるとよい

農業種による分布の違いや地域条件の活用状況、地域別の農業種の選択動向の共通性と多様性、生産・流通・消費構造や農村経営の地域的特徴や地域間の関係性など。地域・空間スケールごとの特徴などの分析と、それらの関係性を見る考察も含まれる（金沢市の農業⇔石川県の農業⇔日本の農業）

もう一つの大きな地理学的アプローチ（地誌学）とともに地域理解を進める上で手法として有効である点、あるいは地誌学と二項対立・分離するものではなく知見の深化過程で相互につながりがあり役立つ存在であることなどに言及があるとなおよい。

●ハザードマップ

場所による自然現象や災害の種類・程度の違いを示した地図で、ハザード（ある現象（によって引き起こされる影響（どのような影響がどの程度生じるか））の存在する可能性を地図にして可視化することで人々が災害を適切にイメージし、災害に対する備えを行うために必要な情報を提供する。どのような地形・地質・土地条件のところが危ないか判定して危険度をランク表示すると同時に、防災に関わる施設や避難場所・避難経路などが表示された地図。

過去に起きた災害実績や地形・地質調査の結果を踏まえて作られていることやマップ作成の手順、情報発信の対象としたい災害種によりハザードマップの表現等に特徴・違いがあること、ハード的防災対策に限界があって近年ではソフト的防災対策による被害軽減の必要

性が高まっているので、ハザードマップの活用に注目が高まっていること、等への言及があるとなおよい。

●DIG

Disaster Imagination Game

ハザードマップを用いて、自分や地域に関わる状況（発生時刻、自分や家族がいる場所、災害の強度・パターン）を設定して、災害が発生したときに自分や地域が置かれる状況や取るべき行動をイメージすること。

災害を実体験することは難しいのでイメージトレーニングをして災害への備えを考える・検証することが重要である点、トレーニングを通して自分に関わりある地域が被災の可能性を抱えていることとその理由を意識・理解を助けることができる点、ハザードマップの情報やDIGの結果を反映した訓練・備えをするとより現実的な防災対策につながる点、ハザードマップの限界を理解して利用する必要（色が塗られていない範囲は「安全」ということを意味するマップではないこと）、などに言及があるとなおよい。

●活断層

ある面を境として両側の岩盤がずれ、破壊面が生じ、断層ができる。このような断層活動のうち、最近数十万年の間に活動した形跡が地形・地中に残っていて、将来も活動して地震を発生させる可能性がある断層のことが「活断層」。

直下型地震の原因である点、震源が浅くマグニチュードのわりに震度が大きく局所的に被害が生じる点、活断層による地震の例（淡路大震災や熊本地震、金沢の森本富樫断層帯など）が挙げられているとなおよい。

山地と平地の境界にある（不自然に）一直線に伸びた崖・谷や、崖・谷を挟んで上下・水平にずれが生じている地形の存在、このような地形があるような場合は活断層がある場合が多く、繰り返し起きてきた地震（によるずれ）の累積により形成された地形である点（＝同じ地点（活断層）で反復して地震が起こる点）に言及があるとなおよい。

●地震のマグニチュードと震度（震度階）

マグニチュード…地震そのものの規模を表すもの。マグニチュードが1.0大きくなると、地震のエネルギーは約30倍大きくなるなど触れられているとなおよい。

震度（震度階）…各地の地表で感じられる地震の揺れの強さを震度計で測定した結果。

気象庁は、それを10段階（震度0～4、5・6の弱・強、7）で区分し、発表していることに言及があるとなおよい。

また、震源からの距離やその地点の地盤などにより、地震の揺れの大きさの感じられ方に違いが生じるので、震源から等距離、同じ地域内であっても、震度が異なるケースがあることなど、マグニチュードと震度との関係に言及があるとなおよい。

<専門>

地域にあった防災対策を検討する際に、地理学的な視点・手法を踏まえることや地理学で多用される道具が用いられることの重要性や意義を説明しなさい。あわせて、地域の人々に防災に関わる対策・情報を伝え、意識の向上を促す際の留意点や課題を挙げなさい。

回答のポイント／記載を要する点

●地理学的手法とそれを用いる重要性や意義の記載がなされているか？

・災害が心配される地域、防災対策を試みようとする地域 → それぞれの地域により、その地形条件や社会経済的特徴（環境…自然環境+社会環境）、活動している人々の属性や暮らし方などには違いがある点への言及

・自然現象が「災害」と認識される → そこに人の存在、社会の存在があるから。自然現象に遭遇する人の対応や営みの様子によって、被災の程度や範囲、影響の深刻度が変わってくることへの言及

・上の点を踏まえた防災対策が必要 → 地域の特性やその特性の重層性、分布やつながりに注目して、知見を得たり課題が潜む側面を洗い出す作業（＝地理学的な視点・手法）が不可欠なので貢献できる点が多いことへの言及

・災害発生の可能性に関わる情報や、被災時の地域への影響がどの程度どこに発生するか？
といった情報 = 位置やひろがり（空間情報）に関わることがら → 地理学が考察や結果の発信の際に道具として採用している「地図」の活用が有効である点への言及（地図類以外にも空中写真など他の地理学的な道具が挙げてもよい）。

●地域の人々に防災に関わる対策・情報を伝え、意識の向上を促す際の留意点や課題の記載がなされているか？

対象となる地域での生活や活動に関わりがある人々はどういう人か？どのくらい存在するか？どこにいるか？ → 対象に合わせた情報の提示（その内容や提示方法の工夫）。場所の特性を多角的に理解する地誌的な見方・調査手法も役に立つ。

何か例示があるとなおよい（例：地域内の人口構成や、観光客や産業従事者などの特徴を確認して、対象にあった情報提示の工夫をしたり、避難計画を立てること）

●自身の研究テーマに引き付けた具体的説明、事例を挙げながらの説明を心掛けているなど、課題への関心の深さや積極性がみられるか？

●回答の論展開の明確さや日本語の適切さ

2020年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 一般

科目名 農村計画論

解答例又は出題意図

問題1の出題意図

基礎的な用語などの理解をみるために出題した。

・(1)～(4)の用語については、農村計画の「教科書」となっている『改訂農村計画学』（改訂農村計画学編集委員会，農業農村工学会発行，2003）から、基本的なところを出題した。それぞれの用語の掲載箇所（項）は次のとおり。

(1)「土地利用計画の特徴と内容」，pp. 59-66

(2)「わが国の国土利用計画の体系」，pp. 66-73

(3)「換地手法」，pp. 78-86

(4)「環境アセスメントとモニタリグ」，pp. 208-211

・(5)は前述の教科書に掲載されていないが、広域的な環境保全を考える上で当然知っておくべきものとして出題した。

・(6)も前述の教科書に掲載されていないが、それが出版されたあとに広まった重要な用語として出題した。

問題2の出題意図

(1)の出題意図

共通点もあるが、農村計画は都市計画とは異なるものであり、都市計画の感覚が通用しないところも多い。その点についておさえているか、をみるために出題した。都市と比較した場合の農村の特性として、自然的空間、疎住空間、職住混合、共同体的性格の強さ、多様な伝統文化などをおさえていることが重要である。

(2) の出題意図は2点

① 農村計画論の実学的な側面に関する理解

農村計画論は実際の農村整備を左右する実学でもある（「絵に描いた餅」では意味がない）。計画推進の手法をおさえているか、をみるために出題した。事業的手法、誘導的手法、規制的手法、教育的手法、協議的手法といった多様な手法をおさえていることが重要である。

② 「この先の国全体の人口減少」を題材に論文執筆の基礎力をみる

未来のことであり、確かなものとして広く共有された要素も少ない。ここでの主眼は論文執筆の基礎力をみることであり、特定の「正解」があるわけではない。論の流れに問題がなければそれでよしとする。

2020 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 外国人

科目名 教育行政学

解答例又は出題意図

出題意図

【基礎問題】

問題1 教育委員会制度の意義や特徴、課題について述べなさい。

：本問題は地方教育行政を担う教育委員会制度に関する基礎的理解を問うものである。主に以下の点に関わる理解度を問う。

- ・分権的教育行政を担う組織であること。
- ・独立性、合議制、民衆統制を基本的な特徴としていること。
- ・狭義の教育委員会と広義の教育委員会によって構成されていること。
- ・所掌（学校の設置管理、教育財産の管理、教員人事、教育課程管理、研修など）。
- ・2015年の大幅改正によって首長権限が強化されたこと。
- ・機能不全、独立性の弱化、予算のついて不十分な権限などの多くの課題があること。

※上記以外の論述についても加点することがある。

【専門問題】

問題2 地方自治体の義務教育費負担について自由に論じなさい（義務教育費国庫負担制度に必ず言及すること）。

：本問題は地方自治体における義務教育費負担をめぐる諸問題、とくに義務教育費国庫負担制度に関わる課題についての理解度と考察力を問うものである。

理解度については、主に以下の点を問う。

- ・地方自治体における義務教育費負担の現状
- ・義務教育費国庫負担制度の意義
- ・総額裁量制
- ・上記等に関する課題

考察力の評価は、主に以下の観点から行う。

- ・義務教育費負担（義務教育費国庫負担制度のみでも可）の現状について分析的に論じているか。
- ・義務教育費負担（義務教育費国庫負担制度のみでも可）のあり方を説得的に論じているか。
- ・文章構成力

※上記以外の論述についても加点することがある。

2020年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 外国人

科目名 言語障害支援論

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

【基礎】

問題 1

(1) 障害のない子どもの言語発達過程

定型発達の子どもの言語発達として、喃語、三項関係、初語、2語文、語彙の爆発期など、いくつかの言語発達のマイルストーンについて記述があり、それがいつ頃現れるのかについても触れてあれば加点をする。

(2) 発声の仕組みと聞こえの仕組み

発声器官や聴覚器官の名称と役割を整理して記述してあれば加点する。触れてほしい点として、発声器官では、声帯、舌、呼気、共鳴など、聴覚器官では、鼓膜、耳小骨、蝸牛、聴神経などがあり、それぞれの役割を簡潔に記すことで、発声の仕組みと聴覚器の仕組みを説明で来ていれば加点する。

(3) 言語やコミュニケーションに関わる脳領域と機能

音声言語の処理には、大脳皮質の中でも、側頭葉にある聴覚野、下前頭葉にあるブローカー野（言語の産出、文法など）、上側頭回にあるウェルニッケ野（主に言語の理解）、読解や書字に関わる角回、縁上回、言語関連領域をつなぐ内側の弓状束等、いくつかの部位の名称と機能が説明されていること。言語機能には脳の側性化もみられること など。

(4) 学習障害(限局性学習症)

「読む」「書く」「計算する」といった学習にかかわる特定のことがうまくできない状態で、発達障害の一つであること。知的障害はないこと。言語については、特に読み（書き）の困難さを抱える状態について、ディスレクシアという用語が用いられることがあること。文字の読み書きや数字の理解に関する脳(中枢神経系)の何らかの機能障害によること。音から文字への変換、文字から音への変換などに難しさがあると考えられていること。支援については、学習教材を興味・関心をも

たせるよう工夫したり、「わかる」「できる」内容を含め、スモールステップで課題を設定すること。読み上げ機能のついた機器やパソコンの使用なども有効であること。学齢期、青年期に応じた適切な支援が有効であること。など。

問題 2

(a) 三項関係

「自己」と「他者」、「自己」と「他者」以外の「もの」の3者間の関係のこと。他者(母親など)が注意を向けている対象(物体や人物)に対して、子どももその対象に対して注意を向けるなど、共同注意行動の一つであること。他者(母親など)が自分と同じように、ある対象に注意を向けているということを知っていること。生後9ヶ月までの乳児は、「自己」と「他者」(例えば、母親)あるいは「自己」と「もの」(例えば、おもちゃ)の二項関係しか認識できないが、三項関係が認識できると、例えば、母親と一緒におもちゃを見る、母親におもちゃがあると指さしなどで教える、母親がおもちゃの方を指さすとその方向を見るなどができるようになること。乳幼児が他者の意図を理解したり、言語発達や社会性の発達における基盤と考えられていること。自閉スペクトラム症のある子どもは、三項関係の確立が困難な場合があること。など

(b) 人工内耳

聴覚障害者の多くは蝸牛内の有毛細胞の機能不全があり、蝸牛内に音が入ってもそれを電気信号に変換できず、脳の聴覚野に信号が送られないために聴覚障害が起きる。人工内耳とは、蝸牛内に電極を直接挿入し、マイクを通して入った音を体外のプロセッサの分析し、蝸牛内に埋め込まれた電極に伝え、電極に直接電気を流すことで音を聴神経に伝え、重度の聴覚障害の人に適用される補聴機器の1つである。

(c) ADHD

不注意、多動性、衝動性の3つの特性を中心とし、注意の配分がうまくいかないことで学習や日常生活に様々な支障をきたす発達障害の1つである。注意が転導し、集中力が欠けたり、思い付きで急に危険な行為を行ったり、じっと座っていることができず、離席行動が増えたりするような行動が目立つ。適切な環境設定や大人の関わりで状況が改善することも多く、状態によっては薬物療法を併用することもある。

(d) 上側頭溝

人の大脳皮質の側頭葉にある溝で、上側頭回と中側頭回を分けていること。社会的な行動と関連があり、他者がどこを見ているかを認識しようとしたり、他者の感情がどこへ向けられているかを判断したり、生物の動きを認識する際にこの領域の働きが重要な役割を果たしていると考えられていること。社会性や対人コミュニケーションに困難のある自閉スペクトラム症では、この領域の活動について、診断のない人と異なっているといわれていること。など

(e) 事象関連電位 (ERP)

光や音、運動など外界からの刺激によって生じる脳の電気活動であること。大脳皮質の神経細胞の活動を反映していること。背景脳波に比べて振幅が小さいため、多数の施行で得られた脳波活動を事象の生起時点にそろえて加算平均する方法によって抽出できること。2 つ以上の刺激を提示して、脳波を比較することで、感覚情報の認知・判断処理過程を捉えようとするものであること。P1 やN1,P2 など様々に名付けられた成分があること。脳波では、脳脊髄液や頭蓋骨、頭皮などの影響をうけること。計測中は、動かない必要があること。など

(f) 心の理論 (Theory of mind)

ヒトが他者の心の状態 (意図、信念など) を推測する能力であること。この能力があるため、人は他人にも心が宿っていると見なすことができ (他人への心の帰属)、他人にも心のはたらきを理解し (心的状態の理解)、それに基づいて他人の行動を予測することができる (行動の予測) と考えられていること。心の理論の有無を調べる方法として、サリーとアンの課題などの誤信念課題などが提案されていること。誤信念課題に対して、3・4 歳児はそのほとんどが正しく答えられないが、4~7 歳にかけて正解率が上昇するというデータが得られている。一方、自閉症児は、誤信念課題をなかなか通過できないことが知られていること。心の理論障害仮説は、自閉症児の原因説のひとつであること、誤信念課題は記憶や言語の能力も関わりが深いこと、など。

【専門】

問題 3

(ア) 手話の言語学的構造について、説明してください。

手話が音声言語と同等の自然言語であり、音声言語とは異なる文法構造や語彙体系を有していることが記述されていることが前提となる。そのうえで、手話の音韻構造や制約、指さし、CL、NMS など、手話の音韻構造や文法構造を適切な用語を使って複数の視点から、正確に説明で来ていれば加点する。

例えば、手話の音韻構造の説明では、音声言語は音素を一線状に配列することによって単語や文を構成するのに対し、手話は「手型」「運動」「位置」の3つの要素が同時的に結合することによって、手話単語を形成する。この「手型」「運動」「位置」が手話における音韻に相当する。というようなことが説明できていれば点を与える。それ以外の文法事項についても、正しい用語で正確に説明できていれば加点する。

(イ) 言語・コミュニケーション障害のある子どもについて、(a) アセスメントのために必要な観点、(b) 子どもに対する指導・支援について、2つの観点から述べてください。

(観点1) アセスメントのために必要な観点について、以下のようなことに言及している。

アセスメントは個々の能力や特性に合った支援を行うために必要であること。遊び場面や会話、行動の観察などから得られる情報、発達検査、知能検査等の標準化された検査、脳波等による生理学的手法などにより、多角的に障害の程度や支援のニーズを把握すること。言語機能について、理解面と表出面とそれぞれについて着目すること。対人関係や認知面での偏りなどを含めて、子どもの全体像を捉えていくこと。子どもの様子と合わせて、保護者の思いや保育園・学校での適応状態など、取り巻く環境などについても捉える必要があること。など

(観点2) 子どもへの指導・支援について、以下のようなことに言及している。

子どもの言語の使用や他者とのコミュニケーションについて十分な実態把握をし、子どもの発達段階や特性を理解した上で、指導や支援を行う必要があること。他者とのコミュニケーションの困難が生じている場合には、自分や他者の感情を理解したり、社会的な情報を読み取ってどのように行動するかを知る方法などが考えられること。乳幼児期、学齢期、青年期などそれぞれの時期に応じた、行動面への指導、支援だけでなく、情緒面についても支援が必要であること。子どもの「困難な」部分だけでなく、「得意な」部分にもアプローチすること。人だけでなく、物理的な環境や人的な環境に対しても多角的にアプローチすること。本人が周囲に援助を求められるように支援すること。など

2020 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 一般

科目名 バイオメカニクス

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

【基礎】

問題1 良い動きを考えるのに役立つバイオメカニクスの原則や動作の中の「反動動作」および「振込動作」について、それぞれ説明しなさい。

出題意図

各種運動の中で用いられている基礎的な動作について、バイオメカニクスの観点での理解を確認した。

【専門】

問題2 砲丸投げの投擲距離を機能的に2つに分割し、それぞれの距離に影響を及ぼす要因を挙げなさい。また、それぞれの要因が投擲距離にどのように影響するのか説明し、投擲距離を大きくする方法を述べなさい。

出題意図

スポーツ運動(砲丸投げ)のパフォーマンスを機能的に分解し、それぞれの距離に影響を与える要因をバイオメカニクス観点で分析する能力を問うた。